

運営者のみなさまへ

「全日本健康麻将選手権」のルールとマナーについて特別顧問であり麻将の提唱者である井出洋介プロの監修により、公平で安心して参加できる内容をご提案頂きました。

ご理解のうえ「全日本健康麻将選手権」では統一した内容での運営を遵守していただきますようお願い申し上げます。

なお、すでに各サークルで運営している各種大会等の内容については尊重し変更を強要するものではありません。
全日本健康麻将協議会

変更には必ず理由があります。理由をご理解ください。

1.洗牌と山積みについて（誤解から生じた3つの行為を是正しましょう）

- 1.東・西が混ぜる→手が当るので（南や北が混ぜないのは不自然、正確な混ぜ方をしましょう）
- 2.2牌掴んで混ぜる→裏向きにしやすいから（不正の疑いのない正確な混ぜ方をしましょう）
- 3.親の掛け声→積むタイミングがわからないから（親が積み始めたら積みばいい）

山積みは牌を完全裏返して親を中心に混ぜ（東や西に限定せず2牌掴みも禁止）、全ての牌が裏返しの状態で親が積み始めたら（親の掛け声不要）子も積み始めましょう。

2.サイコロの振り方と片付け（山に当てる必要なく転がし親が第一打後に右隅に）

サイコロは誰の山にも当てず中央に転がし、片付けも親が第一打後に右隅に置きましょう。

3.マナーのお願い（主宰者でも同卓時には注意せず、審判を呼ぶ公平さを重視して下さい）

ルールやマナーに関して対局中は正しい意見でも直接指摘せず、審判を呼びましょう。

4.喰い仕掛け（1発声、2開示を正確に指導。教室での3取牌、4打牌までは強要しないように）

喰い仕掛けの手順は1.「発声」2.「開示」を守り「取牌」「打牌」は強要しません。

5.記録方法（素点記入ですが集計結果は+▲の表示になるようPOINT君で自動計算します）

記録は素点記入（例：36500）で集計結果は+▲の表示となる（PC自動計算）

6.終了時の供託点（リーチした時点で1000点は供託なので終了時の供託は誰にも加えない）

ゲーム終了時の供託点は誰にも加えない

7.喰い換え（そもそも打牌に制限を加えてはならない）

喰い換えあり ※二三四の面子から一萬をチーして四萬を捨て一二三にすることが出来る

8.チョンボ（ゲームの公平性の観点から人のミスが加点されない規則にする）

手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は12000点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く。もう一度ゲームはやり直す（その局の供託点は戻す）

9.発声ミス（チョンボ同様に公平性の観点から人のミスが加点されない規則にする）

第一発声行為が出来ない場合は1000点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く。同巡内でのロン・ポン・カン・チーはできず、そのままゲームを続行する

10.ポン（又はチー）ロン（発声ミスと同一で罰則を設けるが和了りは認める）

一瞬で倒牌するケースが多くアガリ形も正しいため認めるが1000点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く。

プレー上の注意点

「全日本健康麻将選手権」規則

1. 対局の開始時（終了）は挨拶を交わしましょう
2. 山積みは牌を完全裏返して親を中心に混ぜ（東や西に限定せず2牌掴みも禁止）、全ての牌が裏返しの状態で親が積み始めたら（親の掛け声不要）子も積み始めましょう。
3. 牌山を全員が前に出し井桁にしサイコロを振りましょう。
サイコロは誰の山にも当てず中央に転がし、片付けも親が第一打後に右隅に置きましょう。
なお親は第一打の前に1.配牌完了、2.ドラの表示、3.リンシャンパイの移動を確認する
4. 全ての行為は発声を優先し、発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう。
5. 言動や態度には細心の注意を払いましょう。
 - ①ルールやマナーに関して対局中は正しい意見でも直接指摘せず、審判を呼びましょう。
 - ②手牌に関する発言は誤解を招きますので口にせず、局終了後の「解説」も慎みましょう。
 - ③点棒の支払いは投げず、お釣りがあがる場合は「何点おつり」と声を掛けてあげましょう。
 - ④立て膝、肘を卓につく、足組などは慎み姿勢良くゲームをしましょう。
6. 喰い仕掛けの手順は1.「発声」2.「開示」を守り「取牌」「打牌」は強要しません。
7. 捨て牌は六枚切りにし、打牌は強打せず、呼称せずに捨てましょう。
8. 常に手牌は立てておき、アガった人は理牌（見易く並べること）してから倒しましょう。
9. 流局時にノーテンなら静かに手牌を伏せましょう。他家のアガリ時も静かに伏せましょう。

ルール

- 喰いタンあり・後付けありのルールです ※場所決めは公平に全員が東南西北と1回ずつ座る
- ◇東南戦、30000点持ち 50分/1局で打ち掛け局終了まで ※順位点はありません
 - ◇記録は素点記入（例：36500）で集計結果は+▲の表示となる（PC自動計算）
合計はトップが確認し集計所に持参。もし合計が多い時はトップから引き少ない時はそのまま
 - ◇ノーテンは場3千点。連チャン（聴牌連チャンあり）は一本場につき300点。親がノーテンなら親流れて、オラスならゲーム終了。（供託点は誰にも加えず供託欄に記入する）
 - ◇30符4翻（役+ドラ）は子で8000・親で12000
 - ◇喰い換えあり ※二三四の面子から一萬をチーして四萬を捨て一二三にすることが出来る
 - ◇形式テンパイあり。（自分が待ち牌をすべて使っている時は無効）
 - ◇途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし
 - ◇あがり者は常に一人。（同時あがりは頭ハネ）
 - ◇グループルールなし（人和、カン振り、嶺上開花ツモでの責任払い、役満の特例 なし）
 - ◇役マンのパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をポンあるいはカンさせた時とし、ツモは全額・ロンは半額負担

リーチ

- ◇フリテンリーチはツモあがりのみ ◇リーチ後のツモ牌選択あり
- ◇一発・裏ドラ・槓ドラ・槓裏ドラあり ◇ノーテンリーチは流局時にチョンボ
- ◇リーチ後の暗槓はメンツ構成（待ち牌ではない）が変わらない場合のみ
例）――三四四四での一もメンツ構成が変わるため槓はできない（一二三が無くなる）

罰則 ※但し罰則の運用は審判に従う

- ◇チョンボ 手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は12000点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く。再度ゲームはやり直し(その局の供託点は戻す)
- ◇1000点罰則 第一発声行為が出来ない場合は千点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く。同巡内での発声行為できずそのままゲームを続行する
- ◇アガリ放棄 誤ロン及び誤ツモ
- ◇ポン(チ)ロン 倒牌するケースが多くアガリ形も正しいため認めるが1000点を供託欄に記入し終了時に本人から差し引く